

チョウとガに違いはない!?

●「チョウとガはどこが違うの?」

“チョウは派手でガは地味”など、よく言われる違いには必ず例外があり、明確に分けることはできません。なぜならば、チョウとガに違いはないのですから。

●よく言われる区別点と例外



	チョウ	ガ	例外
飛ぶ時間	昼	夜	昼に飛ぶガがいる、チョウは夜にも飛ぶ
外観	派手	地味	派手なガ、地味なチョウがいる
触角の先	太い	細い	太いガ、細いチョウがいる
胴体	細い	太い	細いガ、太いチョウがいる



●チョウとガはじつは同じなかま

フランス語やドイツ語では、チョウとガをひとつの言葉で言い表し区別をしていません。それもそのはず、チョウとガは同じ「チョウ目」という分類群に含まれるなかまなのです。チョウもガも同じなかま、こんな目で見てみると新しい発見があるかもしれません!

チョウ目のなかま(国内に33上科)

- |            |            |          |
|------------|------------|----------|
| コバネガ上科     | マダラガ上科     | セセリトキガ上科 |
| スィコバネガ上科   | ボクウガ上科     | メイガ上科    |
| コウモリガ上科    | スカシバガ上科    | マダガ上科    |
| モグリチビガ上科   | ハマキトキガ科    | カレハガ上科   |
| マカリガ上科     | ハマキガ上科     | カイコガ上科   |
| ムモンハモグリガ上科 | ホンマイコガ上科   | イカリモンガ上科 |
| ヒロズコガ上科    | ササベリガ上科    | セセリチョウ上科 |
| ホンガ上科      | ニジュウシロバガ上科 | アゲハチョウ上科 |
| スガ上科       | トリバガ上科     | カギバカ上科   |
| キバガ上科      | ニセハマキガ上科   | ジャクガ科    |
| ネムスガ上科     | マルバシクイガ上科  | ヤガ上科     |

チョウ目のうちガ(赤字)は約6000種、チョウ(青字)は約250種

奥多摩の野鳥

■ツミ

Vol. 96



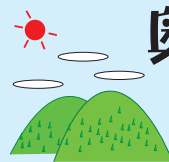
漢字名：雀鷹  
タカ目/タカ科

レア度 ★★☆☆

- 大きさ 全長 27~30cm
- なき声 「ピョウ ピョウ ピョ ピョ ピョ」
- 特徴 オスの上面は青黒く、胸から下面には淡いオレンジ色の斑紋がある。メスはオスよりもやや淡い色合いで、胸から下面の斑紋は淡い灰褐色となる。
- ◇ メモ 主にスズメなど小型の鳥を食べるが、昆虫類も食べる。

👁️ どこで観察できる?

国内 留鳥。平地から山地の林。住宅地の公園などでも観察されている。  
奥多摩 山地で繁殖していると思われ、年間を通して観察されている。



奥多摩を  
歩こう!



★もっと蛾のことを知ろう!

シリーズ・ガ第1回

カトカラ

カトカラのいる標本箱  
どの標本がカトカラでしょう?

東京都 奥多摩ビジターセンター

URL : <http://www.okutama-vc.com/>  
住所 : 東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1  
電話 : 0428-83-2037

公益財団法人 東京都公園協会

お客様サポートセンター (協会の事業全般に関するお問い合わせ)  
電話 : 03-3232-3038 ※8:30~17:30 (土日・祝日・年末年始を除く)

うわはね したはね  
上翅は地味だけと下翅が鮮やか

◆日本には何種類のがいるの？

約6,000種います。種数は現在もなお増え続けていて何種類いるのか説明中です。

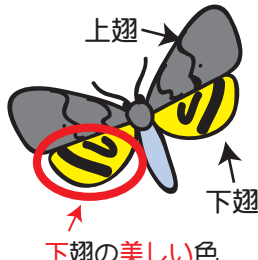
◆カトカラって何？

ガのなかまには、下の翅に鮮やかな色彩を持つグループがいます。

このグループは日本に

約1,300種いるヤガ科の中のひとつで、その名前(学名)の読みから「カトカラ」と呼ばれています。

綴りは *Catocala*、ギリシャ語で「下」と「美しい」という2つの言葉から作られ、下翅の美しい色から名付けられました。



◆カトカラは何種類いるの？

北半球を中心に生息し、北アメリカとユーラシアの2大陸にそれぞれ約100種、合わせて200種以上がいます。日本にはこのうち31種が生息しています。

◆名前はなんていうの？

名前は下翅の色によって付けられています。例えば、黄色い下翅の種はキシタバです。



カトカラの下翅の色に注目!!

下翅がきれいなカトカラ、全部で4色。ここでは各色の代表種を紹介します。

山地性!! 奥多摩ならではの

**ムラサキシタバ**  
*Catocala fraxini*

翅を広げた大きさ 9.7センチ

紫色のカトカラは1種だけ

日本産カトカラの最大種。山地に生息。紅葉の頃までいる見事なガです! 幼虫はポプラ等を食べて育ちます。

山地性!! 奥多摩ならではの

**ベニシタバ**  
*Catocala electa*

翅を広げた大きさ 7.3センチ

紅色のカトカラは3種います

朱色のような紅がとても鮮やか! 山地に生息。幼虫はヤナギ類を食べて育ちます。

**シロシタバ**  
*Catocala nivea*

翅を広げた大きさ 9.2センチ

白色のカトカラは5種います

雪のように白い下翅、蒼むしたような上翅も魅力的! 丘陵-山地に生息。幼虫はウワミズザクラを食べて育ちます。

**キシタバ**  
*Catocala patala*

翅を広げた大きさ 6.7センチ

黄色のカトカラは22種います

黄色のカトカラの中では日本最大、立派な体格! 平地-山地にかけて広く生息。幼虫はフジを食べて育ちます。

何種いるかな? 奥多摩のカトカラ

◆奥多摩に生息するのは17種前後

奥多摩には上で紹介した4種を含め、およそ17種前後生息していると考えられます(東京都全体では20種)。ガの調査はあまり進んでおらず、**都内では未確認のカトカラ**が奥多摩に生息しているかもしれません。

ビジターセンター周辺ではシロシタバが見られます。幼虫が食べるウワミズザクラが近くにあるためでしょう。また、奥多摩駅からバスで30分程の**日原地域**ではナマリキシタバという珍しいカトカラも見られます。

皆さんもぜひカトカラを探してみてください!



奥多摩町氷川、氷川大橋の石柱に下向きに止まるシロシタバ (普段は地味な上翅しか見えません)